

たかつき市民活動ネットワーク NEWS

(NPO法人たかつき市民活動ネットワークの略称:TCAN)

2017.6.30 第57号

発行 : NPO法人たかつき市民活動ネットワーク

〒569-0078 高槻市大手町6-24

TEL/FAX: 072-674-1959

<http://tcan.la.coccan.jp/>

2017年度通常総会報告

5月13日(土)午後1時30分より、高槻市立総合市民交流センター<クロスパル高槻>にて、2017年度通常総会が開催された。正会員45名のうち、出席者21名、委任状23名(書面表決者を含む)の44名が出席、2016年度の事業報告、決算報告に続き、2017年度の事業計画(案)、活動予算案(案)、定款変更、次期役員候補が審議され、原案通り全会一致で承認された。

【2017年度重点方針】

今年は「よし、やってみよう」のかけ声で気持ちを結集いたします。重点として①第3次中期戦略の策定 ②女性・学生等の多様性ある顧客開拓 ③活動資源の広域連携 に力点を置きます。TCAN の名前に込めたネットワークは、情報の編集によって価値を生み出します。情報は蓄えられているだけでは力を発揮しません。やりとりを交わす過程から、情報に意味が付けられ、価値が発見され、新たな理解ややり方が創り出されます。

2017年度事業計画

◆市民活動への参加を促進する事業

(1) 総会記念「市民が主役のまちづくりセミナー」の開催

5/13に総会后「なぎさのコミュニティ福祉論」開催済み、本誌 P2 で詳細を記載。

(2) 「市民ひろば」サロン・団談「」の企画、推進

会員同士のつながりのきっかけをつくり出す春の高槻ジャズストリート、秋の食の文化祭「社会貢献のひろば」に関連する団体やボランティアの活動の場づくりである事を意図して企画を組み込む。また、2年間にトライしたクラフトカフェの活動を発展させるべく会員のアイデアを触媒に工夫していく。

(3) 「社会貢献のひろば 2017」(要支援者との心のつながり)の企画・運営

◆市民活動団体相互および市民・事業者・行政・地域社会との協働を促進する事業

(1) 「コミュニティ・ビジネス研究会」活動の推進

全国化粧品小売協同組合の取り扱い商品「KIRYO」の販売応援、巡ごはんいろはの集客サポート、犬の合宿所資金調達事業の研究

◆市民活動の環境を整備する事業

関西 NPO 支援センターネットワーク(KNN)及び、北摂7市の市民活動中間支援組織と横断的に情報交換し、調査を行い内なる事業のヒントにする

◆市民活動に関する調査・研究・政策提言を行う事業

「PPPつながりたい」事業

市民参加条例がなぜ必要か、じっくり学習に特化した活動を忍耐強く意識的に行いつつ会員と市民に働きかけていく活動に集中していく。

◆市民活動拠点施設を管理運営する事業

- (1) 市民公益活動サポートセンターの運営参加
- (2) 市民活動センター「みんなの家」の運営参画

◆TCANの活動運営に関する事業

- (1) 第3次中期戦略策定(2018~2022年)
- (2) 広報活動

- 1 会員の拡大
- 2 会報の発行
- 3 ホームページの更新



なぎさの福祉コミュニティから市民が主役のまちづくりへ

総会後は例年通り、「市民が主役のまちづくりセミナー2017」が開催された。今年も、大阪ボランティア協会事務局長、理事長、顧問として長年、大阪のみならず日本全国のボランティア育成、ボランティア活動推進に携わってこられ、とりわけ、その理論的支柱として運動を牽引して来られた岡本榮一先生(現・同協会ボランティアリズム研究所所長)をお迎えし、「『なぎさの福祉コミュニティ』から市民が主役のまちづくりへ」と題してお話しいただいた。

その中で先生は、「なぎさの福祉」とは、諫早湾の干拓問題報道を見ていて思いついた概念で、なぎさは満潮の時には海となり、干潮の時には陸となる「狭間の領域」である。ちょうど、昔の日本の家屋にあった縁側と同じである。「なぎさの福祉」はその狭間を大切にしようという考え方で、「日本では施設の社会化、アメリカではノーマライゼーション、イギリスではコミュニティ・ケアの概念で語られてきたことである」とのこと。

そのことを先生は、「地域社会の新たな課題の生起」「なぎさの創造」「なぎさの場づくり＝福祉コミュニティ」「なぎさのコミュニティの具体化」という4つの柱を立てて話されたが、その中で、熊本県蘇陽町(現・山都町)社会福祉協議会による「寝たきりになっても花見に行こう！」の取り組みや、第

2次大戦後の日本の障害児者福祉に大きな影響を与えた、近江学園の実践から生まれた「この子らを世の光に」(この子らとは知的障害児のこと)という2つのフレーズを福祉コミュニティを象徴する言葉として紹介された。

人口流動社会で、かつての血縁関係を中心とした「閉じられた」地域共同体が崩壊する一方、少子高齢化が生み出すさまざまな福祉課題に対応していくためには、市民的連帯意識に基づく「開かれた」地域共同体の創出が必要と思われるが、先生の「なぎさの福祉コミュニティ」の提言は、そのための有力なヒントになると思われる。

先生の話の後、参加者から多くの質問が出され、1時間余りにわたって意見交換がおこなわれた。



2017年度 主な事業の担当理事

理事長:丸居美樹夫 副理事長:山下征紀、牧口明、飯村六合夫、事務局:藤田精二(事務局長)、飯村六合夫

事業項目	担当
◇総会記念「市民が主役のまちづくりセミナー」の開催	牧口
◇「市民ひろば“サロン・団談”」の企画、推進	山下、飯村、奥田
◇～社会貢献のひろば 2017(要支援者とのつながり)～の企画・運営	佐藤、飯村
◇「コミュニティ・ビジネス研究会」活動の推進	清水
◇市民活動支援組織の協力・協働事業	藤田
◇「PPPつながりたい」事業	山下、藤田、西村、丸居
◇市民公益活動サポートセンターの運営参加	藤田
◇市民活動センター「みんなの家」の運営参画	藤田、飯村
◇第3次中期戦略策定(2018～2022年)	山下、丸居
◇広報活動	丸居、牧口、藤田、佐藤

TCAN理事の今年度の抱負

山下 征紀

丸居理事長の体制がうまく軌道に乗る事を、主眼にして「よし やってみよう」の気概で望みます。

これまでのやって来たことを整理整頓して今後役に立つものにまとめて活用出来るものになりたいと思います。第3次中期戦略ビジョンを創る年ですので後半はこの事業に力を入れます、この事業に沢山の方の参加を期待しております。面白い、愉快な集いをみんなで創っていききたいですね。

牧口 明

引き続き副理事長を務めさせていただくことになりました。前理事長の山下さんと前事務局長の飯村さんというお2人の先輩に挟まれてやや心許ない感じはしますが、これまで長年かかわってきたボランティア・市民活動の経験(特に失敗の)を少しでも生かし、丸居新理事長のもと、高槻の市民活動進展のために微力を尽くしたいと思います。

飯村 六合夫

現今の I/P 優先の社会で、自由度を尊重せざるを得ないボランティア組織で、社会力を向上・維持させる伝家の宝刀はあるのだろうか？企業人であった頃、組織力を高めるため、Double STAFF~同じ業務を2人以上がこなすことができること~、Dual TASK~一人が二つ以上の仕事をこなすことができること~を旨として取組んできた。世代の異なる役員へバトタッチする2期目。ゆっくり急いで世代交代に踏み込んで行きましょう。

西村 逸郎

情報技術の進歩とシステムの充実が進む社会のなかで地域に住む仲間が知識を共有し、日々の生活を豊かにするには、力を合わせていくことが大切です。みんなで自分たちの町をより豊かにできるようにと話し合い、よりよい明日を築けるよう力を合せてゆきましょう。

藤田 精二

この2年間、事務局担当理事としてTCANに関わってまいりましたが、今年度より事務局長を拝命いたしました。事務局としてまだまだ経験不足ではございますが、TCAN、ひいては高槻市に少しでも貢献できるよう精一杯努力してまいります。役員をはじめ皆様のご指導、ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。

佐藤 智昭

私は花の会で障がいがある人が地域で豊かに生活できるよう当事者・家族と共に活動を行なっています。誰もが住みやすいまち高槻を目指し、TCANを通じて、様々な市民活動団体と連携できる取り組みを企画したいと思っています。また拠点である「みんなの家」の経営難を打開する取り組みも企画中です。乞うご期待！

清水 康朗

これからの2年間、今までと同様にコミュニティビジネス研究会を担当させて頂くこととなります。高槻での暮らしが10年となりましたが、まだまだ知らないことばかりですので、ご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い致します。今後も住まわせて戴いている高槻に少しでもお役に立てるよう努めて参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

平田 有喜宏

引き続き監事をさせていただきます平田有喜宏です。もとより一般的にNPO支援の定義はとめどなく広く、TCANにおいても今年度は第三次中期戦略の策定など方向性を整え、これまでに培った事業をさらに展開する一年になること存じます。

どうぞ2017年度もよろしくお願い申し上げます。

奥田 美智子

今年度、丸居理事長のもと市民ネットのお手伝いをさせていただきます。

課題満載の中、何にでも興味を持ち、ポジティブに捉える性格がどのような方向に行くことやら…。地域でお役に立つことが何かできれば幸いです。皆様にはごめいわくをおかけすることも、多々あると思いますが、宜しくお願い致します。

丸居 美樹夫

市民とはなんだろう？辞書をひくと「政治的共同体である市及び都市における構成員」とある。その構成員が「たかつき市民活動ネットワーク」というNPOで何を・何が出来るかを考えています。

超高齢化社会になろうとする日本・高槻で行政からではなく、市民からの働きかけで住みよいまちづくりを目指したいと思います。

新理事長よりのごあいさつ

TCANの理事長という難しい要職に就かせていただいた丸居美樹夫と申します。前理事長の山下さんには副理事長を引き受けてもらい助言や指導などご支援をお願いしました。現副理事長の牧口さんと前事務局長の飯村さんも副理事長をお願いし、事務局長には藤田さんに就任していただきました。

今まで培われて来た歴史や実績を会員と共有し、共に活動する仲間を増やすことが最重点課題です。私たちの活動の「見える化」をはかり、共感してもらえる仲間を募る-「数はちから・源泉です」-ことで「やりたいこと」と中間支援組織として「やらなければならないこと」を明確にし、たかつき市民活動ネットワークというNPO法人の持つ資産を活用したいと考えています。

先進NPO活動の事例を学び、高槻での役割を議論し、共有することでTCANの姿が見えてくるのだらうと思います。

素晴らしい先輩がいます、仲間もいます。みんなでワイワイやりながら前進していきますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

事務局だより

経過報告及び今後の予定



TCANの活動（2017年5月～9月）

◇◇ イベント関連 ◇◇

●第19回たかつきジャズストリート/社会貢献のひろば主催

5/3(水)、5/4(木)開催。ブース出展団体5団体6名。

TCANのブースではスーパーボールすくいを実施し、災害被災地への募金集めを行った。

○ゆいまーる三線/投げ銭ライブ(市民活動センターみんなの家にて開催)

6/24(土) 15:30～17:00 済み。

◇◇ 定例会議・会合 ◇◇ すべての会議・会合は公開にて、傍聴・発言もOKです。

●理事会(原則毎月第2金曜日の19:00より開催)

2017年度第1回5/26(金)開催済み。第2回6/9(金)開催済み。第3回7/14(金)。

第4回8/18(金)。第5回9/8(金)。

○市民活動センターみんなの家・運営協議会(奇数月第3金曜日の19:00より開催)

5/19(金)開催済み。7/21(金)。9/15(金)。

○高槻市市民公益活動サポートセンター管理運営委員会 2017総会

5/20(土) TCANは正会員として委員1名が出席。

○市民活動センターみんなの家・環境整備の日 6/17(土)済み。参加者6名。

事務局雑感

2017年度の通常総会が無事に終了し、事務局では高槻市への事業報告書等の提出作業と法務局への登記の手続きに追われていました。

高槻市への事業報告書等の提出については、通常書類に加え、2017年度の通常総会にて役員改選(2年ごと)と定款の変更が行われたため、それらの書類も提出しました。

定款については、公告の手段を変更しました。平成28年6月7日に「特定非営利活動促進法の一部を改正する法律」が公布され、平成29年4月1日より一部先行施行されていることによるものです。

法務局に対しては、毎年行っている資産の総額の変更登記の他に、2017年度の通常総会にて役員改選が行われたことに伴い、役員変更登記も行いました。理事の登記に関しては、NPO法では代表権を有する理事のみを登記することになっています。TCANでは定款にて理事長のみが代表権を有する旨規定されているため、理事長のみが登記されています。

TCANとしては理事長の交代に伴う新体制の発足に伴い、これまで以上に精力的に活動していきたいと考えています。ぜひ皆さんからの忌憚のないご意見をお聞かせください。

編集後記

会報第57号をお届けします。今までの活動とこれからの目標を仲間と共有して行動していきます。個人個人の想いをTCANの取り組みにどのように活かしていくのか。高槻市民にとってTCANが役立つことを積極的にできれば良いなと思っています。皆様のご意見もお聞かせください。丸居・牧口